

会期中 まちの本棚 で販売中!



『あらのもの図鑑』

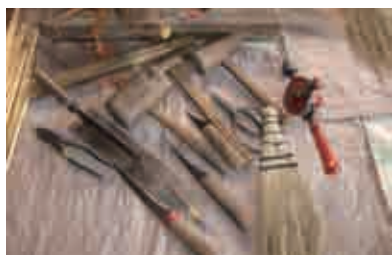
松野弘=編 (新潮社とんぼの本) 定価: 本体 1,600 円 + 税

丈夫で長持ち、使い込むほどに味が出る荒物雑貨の目利き、
〈松野屋〉店主が選んだ、日本の生活道具130点!

日常あたりまえに使われてきた(荒物)が絶滅の危機! 無骨だけど、
シンプルで丈夫、使い勝手よし、値段もお手頃の日本の生活道具
を見直してみよう。職人や町工場の生産現場も詳細にルポ。

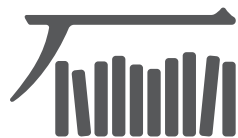
【特別対談】

小林泰彦×松野弘「ヘビーデューティーと荒物雑貨のすてきな関係」



「石巻 まちの本棚」とは?

一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0 と一箱本送り隊による共同プロジェクトのスペースです。現在、毎週、土・日・月の3日間に開館。誰でも自由に本を閲覧でき、借りて家で読むこともできます。全国のフリーペーパーの配布コーナーや、古本販売のコーナーもあります。イベントスペースやギャラリーとして貸し切り利用もできます。ご相談ください。



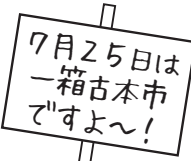
石巻 まちの本棚

ISHINOMAKI BOOKSHELF



石巻 まちの本棚

本の貸出、古書販売、
ブックトーク、各種イベント開催中
開館日▷毎週 土曜・日曜・月曜オープン
会館時間▷11:00~18:00
住所▷石巻市中央2丁目3-16
ご予約・お問い合わせ▷
bookishinomaki@gmail.com
Webサイト▷bookishinomaki.com/
Facebook▷www.facebook.com
/ishinomaki.machinohondana



石巻 まちの本棚

ISHINOMAKI BOOKSHELF

夏のイベント

暮らしの道具 松野屋 あらのもの 雑貨の世界

〈一点もの〉と
〈大量生産〉のあいだ

自然素材を活かした
職人さんと町工場の
〈もの作り〉



会場

石巻 まちの本棚

会期

7月4日(土)~8月31日(月)
土・日・月 11:00~18:00

トークイベント

民藝から
ヘビーデューティーへ
あらのもの雑貨の魅力
おしゃべり=松野弘さん
7月4日(土) 18:00~

東北初登場!

松野屋さんの
あらのもの雑貨展

展示

松野弘さんの本棚
〈70年代といまを結ぶ本〉

〈一点もの〉と〈大量生産〉のあいだ 自然素材を活かした 職人さんと町工場の〈もの作り〉は 中量生産の民衆的手工業です

竹かご、棕櫚のホウキ、トタンのちりとり、
アルマイトの弁当箱、キャンバス地のカバン、蠟引きの紙袋……
どこか懐かしい手ざわり、温もりのある質感をもった
生活道具が見直されています。

農閑期の納屋や小さな工房、町工場で作られる
自然素材を活かした〈暮らしの道具〉がもつ
新鮮な魅力と新しい価値観。
7月25日にまちなかで開かれる
「一箱古本市」とあわせ、
ぜひ手にとってごらんください。

東北初登場！

松野屋さんの あらもの雑貨展

東京・馬喰町の荒物問屋・松野屋さんのポップアップストアが2ヶ月限定で
〈まちなか本棚〉に登場！ 東北初出店、もちろんすべてお買い求めいただけます！
懐かしくて手にやさしい品々、日常に使いやすく、今の暮らしにちょうど良い
暮らしの道具にふれてください。



松野弘さんトークイベント

民藝からヘビーデューティーへ あらもの雑貨の魅力

日時>> 7月4日(土) 18:00~20:00
会費>> 500円
定員>> 25名(予約制)

〈あらもの雑貨〉の魅力は、一点ものの芸術品でもなく、大量生産される工業製品でもない、〈使いやすさ〉〈求めやすさ〉と〈愛着がわいて〉〈暮らしになじむ〉質感やデザイン。日本各地にある伝統工芸や地域に根ざした産業、欧米のアーツ&クラフトやヘビーデューティーなどのムーブメント、70年代に花開いた雑貨文化を経て、〈あらもの雑貨〉へ。松野屋社長・松野弘さんに、これからの〈日本のもの作り〉の方向性を、各地の作り手たちを訪ねたビデオや写真を交えてお話しいたします。

ご予約は「石巻まちなか本棚」または bookishinomaki@gmail.com へ。

展示

松野弘さんの本棚 〈70年代といまを結ぶ本〉

70年代に20代を過ごした松野さんにとって、アメリカンカルチャーは、それまでの日本の暮らしや地域の文化を飲み込んで押し流す大きな潮流でした。一方、京都〈一澤帆布店〉での修業時代にふれた柳宗悦や河井寛次郎らの〈民藝〉にも強く惹かれ、原宿や青山で個性ある店主たちが開いた〈雑貨店〉には何か新しいことが生まれる時代の鼓動を感じました。松野さんがずっと手許に置いている貴重な本をお借りして、展示します。

